

(2) 東北



東北地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は緩やかに持ち直している。
- ・ 雇用情勢は持ち直している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)

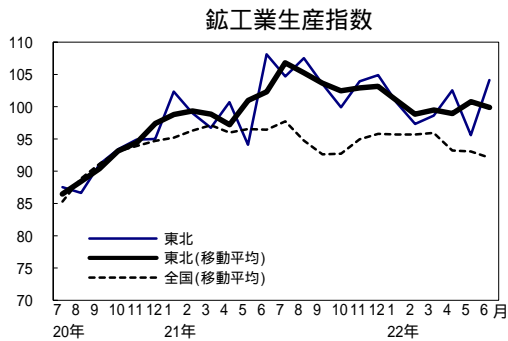
前回からの主要変更点

	前回(令和4年6月)	今回(令和4年9月)	
景況判断	持ち直しに足踏みがみられる	緩やかに持ち直している	
鉱工業生産	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	このところ持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	持ち直している	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

4 - 6月期の鉱工業生産は、食料品は冷凍調理食品等が増加したこと、電子部品・デバイスはモス型半導体集積回路(メモリ)等が増加したこと等により、前期比1.9%増となった。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	15.3	1.1	3.6	14.4	2.1	0.5
食料品	11.0	0.6	8.4	3.7	5.4	1.8
化学・石油製品	9.1	9.0	9.8	3.2	0.4	34.4
輸送機械	7.9	11.9	5.3	5.8	6.4	7.6
生産用機械	6.7	13.1	2.1	16.5	17.6	36.5
鉱工業	100.0	4.0	1.9	4.0	6.7	8.9

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 4 - 6月期、6月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は緩やかに持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

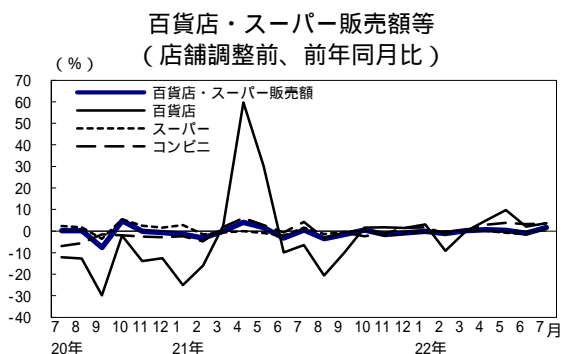
4 - 6月期は前期比 3.8%増となった。月別にみると、4月は前月比 1.7%増、5月は同 3.5%増、6月は同 3.6%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店・スーパーは、4 - 6月期は前年同期比 0.1%減となった。月別にみると、4月は前年同月比 0.6%増、5月は同 0.3%増、6月は同 1.1%減となった。

百貨店は、4 - 6月期は前年同期比 5.4%増となった。

スーパーは、4 - 6月期は同 0.7%減となった。



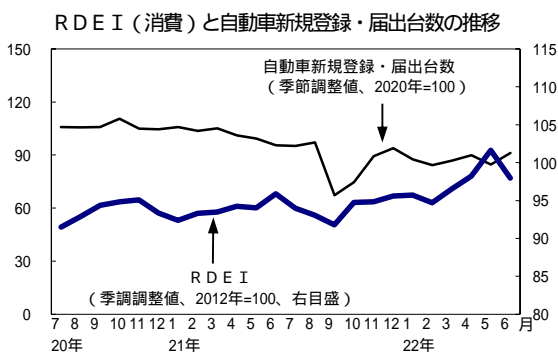
	2022年4 - 6月	2022年4月	5月	6月	7月
RDEI (消費*1)	3.8	1.7	3.5	3.6	-
百貨店・スーパー(*2)	0.1	0.6	0.3	1.1	1.6
百貨店(*2)	5.4	4.8	9.8	2.0	3.6
スーパー(*2)	0.7	0.1	0.8	1.5	1.3
コンビニ(*2)	3.3	2.9	3.8	3.2	3.5
乗用車(*3)	10.3	12.2	14.0	5.1	0.2
(季節調整値)(*3)	2.8	3.6	5.9	7.8	5.7

(備考) 1. 季節調整前前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

2022年7月は速報値。

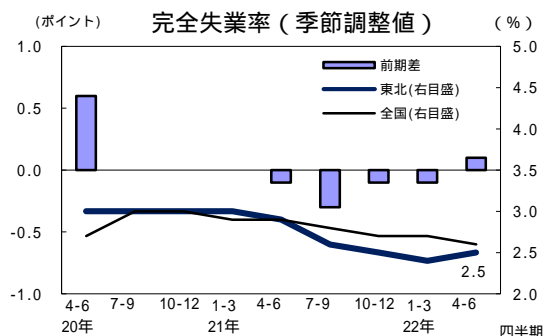
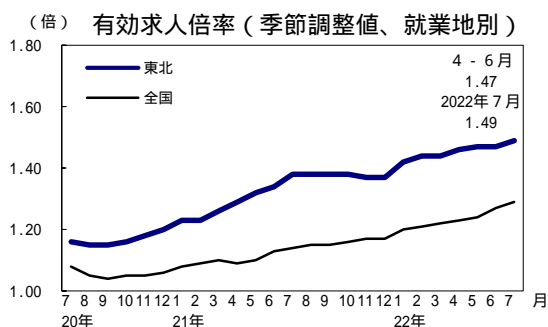
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は持ち直している。

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を上回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査（令和4年8月調査）景気判断理由の概要

2. 東北

(◎良、○やや良、□不変、▲やや悪、×悪)

分野		判断	判断の理由	
現状	家計動向関連	□	・夏休みからお盆にかけて人の流れは結構出てきているものの、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、客の消費行動に直接結び付いてはいないようである（その他小売 [ショッピングセンター]）。	
		▲	・物価上昇が購入意欲の低下に影響しているような感じがある（コンビニ）。	
		○	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加しているが、他県からの客が増加している（観光型ホテル）。	
	企業動向関連	□	・大型夏祭りは新型コロナウイルス感染症発生前の人出に戻り、一時的には消費拡大となったが、新型コロナウイルスの新規感染者数が高止まりの状態では継続的に活発な販促活動が展開できず、広告業界は依然として低迷している（広告業協会）。	
		▲	・スマートフォン等の需要減退に伴う対応を示唆されている（電気機械器具製造業）。	
		○	・夏祭りやお盆の帰省も人の動きが良かったため、土産商品がよく動いた。新型コロナウイルス感染症発生前までは売上は回復していないが、ホッと一息といったところである（食料品製造業）。	
	雇用関連	□	・求人数については横ばいの状況である（人材派遣会社）。	
		○	・新型コロナウイルスの新規感染者数は依然高止まっているが、特に行動制限が掛けられていないため、各種イベント等は感染症対策を講じ、規模縮小ながら実施できている（学校 [専門学校]）。	
	その他の特徴コメント			○：県民割のクーポンを使う人の来店が多くなっている（一般小売店 [酒]）。 □：新型コロナウイルスの新規感染者数が多くキャンセルなども多かったが、結果として大きくは変わらなかった（観光型旅館）。
	先行き	家計動向関連	□	・いまだに商品の値上がりが続いていて、買いにくい価格の商品が増えている。また、新型コロナウイルスの感染拡大も続いており、来店を自粛する傾向がみられる。この状況は続きそうである（スーパー）。
▲			・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による来客数の大幅な減少は、この先も続くともみている。また、値上げラッシュで財布のひもは固くなることが考えられる。特に東北地方は冬季の灯油代が家計に占める割合が高いため、生活必需品以外への支出が減ることが予想される（その他専門店 [靴]）。	
企業動向関連		□	・客先での増産や新規設備の話題は増えつつあるが、なかなか発注には至らない。材料価格は高止まりしている。構造部品や制御部品の入手もまだ困難な状況が続いている（一般機械器具製造業）。	
		○	・年末に向けて官民で比較的大型の工事契約が進む見通しもあり、景気は若干上向き可能性がある（建設業）。	
雇用関連		□	・求人数が求職者数を上回っている状態が続いているものの、燃料の価格高騰や物価高などが事業者や求職者に影響を与えることも想定され、状況を注視する必要がある（職業安定所）。	
その他の特徴コメント			□：燃料油は補助金適用の成果により販売価格の上昇は抑えられているものの、年内は現行販売価格のまま高値で推移するとみている。節約志向が強くなると予想している（その他専門店 [ガソリンスタンド]）。 ▲：新型コロナウイルスの感染が拡大しており、延期や中止が増えている（旅行代理店）。	

(D I) 現状・先行き判断D I（東北）の推移（季節調整値）

